

氷見市議会産業建設委員会会議録

令和7年2月12日(水)
氷見市庁舎議事堂委員会室
開 会 午前 9時59分
休 憩 午前11時55分
再 開 午後 1時00分
閉 会 午後 3時02分

- 1 案 件 令和7年度予算案のうち産業建設委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 5名
北委員長、萬谷副委員長、荻野委員、屋敷委員、萩山委員
- 3 委員外議員 正保護長、上坊寺副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 布尾局長、山崎次長補佐
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
菊地市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、舛田防災・危機管理監、安田消防管理監、釜田産業振興部長、神代建設部長、中川地域防災課長、竹消防総務課長、角商工観光課長、赤倉農林畜産課長、谷口農業委員会事務局長、竹口水産振興課長、林ふるさと整備課長、堂田道路課長、宮下都市計画課長、足立上下水道課長、そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 経過及び結果
 - ・北委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・令和7年度予算案について、当局より説明を受け了承した(主な質疑応答は別紙のとおり)。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和7年2月12日

氷見市議会産業建設委員長

氷見市

令和7年2月産業建設委員会調査日程表

令和7年2月12日(水)午前10時
氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 消防総務課
・事業別明細書…………… P. 10
- ◎ 地域防災課
・事業別明細書…………… P. 9
- ◎ 商工観光課
・事業別明細書…………… P. 58
- ◎ 農林畜産課
・事業別明細書…………… P. 63
- ◎ 水産振興課
・事業別明細書…………… P. 68
- ◎ 農業委員会事務局
・事業別明細書…………… P. 120
- ◎ ふるさと整備課
・事業別明細書…………… P. 71
- ◎ 道 路 課
・事業別明細書…………… P. 75
- ◎ 都市計画課
・事業別明細書…………… P. 79
- ◎ 上下水道課
・事業別明細書…………… P. 82

主な質疑応答

消防総務課 屋敷委員	4 消防広域事務委託費について、委託費増加の内訳は。
竹課長	令和6年度、令和7年度消防救急デジタル無線の更新事業のためであり、消防指令システムでは、119番通報時にスマートフォン等連携し、現場の映像を映しながら応急手当等ができること、大規模災害により、119番の回線が遮断された場合、指令センターの衛星電話に切り替え回線が維持できるシステムの導入していることなどの機能強化がはかられていること。また、消防団車両について、タブレット等を使って消防ポンプ車の位置推理情報ルート等ができるなど、システムの機能アップがはかられており、その分の増減となっている。
屋敷委員	13 消防庁舎長寿命化改修事業費について、消防庁舎の長寿命化は大丈夫か。
竹課長	消防庁舎は平成2年に新築され、現在33年が経過している。 現在ある自家発電設備が、連続13時間しか稼働せず、国の基準から下回っていることから、自家発電設備の更新をお願いするもの。
屋敷委員	4 消防広域事務委託費について、広域化されて4年目となるが、そのメリット、デメリットは。
安田消防管理監	メリットは氷見市の南部地区の災害活動、到着時間の短縮が挙げられ、デメリットは、現状申し上げることはない。
萩山委員	4 消防広域事務委託費について、委託費の増はシステムと無線ということであったが、2億7千万円の増とイコールでよいのか。
竹課長	そのとおり。
萩山委員	高岡市と氷見市の間で、広域化に係る日ごろからのやり取りはあるのか。
安田消防管理監	予算の中身等を検討する場を設けるとともに、高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線については、共同運用指令事務協議会にて氷見市の負担分を決定している。
萩山委員	3年間運用から、負担の見直しの検討や、将来的にこの事務費の増の懸念はあるのか。

安田消防管理監	もし不都合や問題が生じた場合には、両市において協議を進めて、その都度修正を図る予定。
萩山委員	市長レベルの案件が生じることも想定されているか。
安田消防管理監	協定書の変更など市長対応が求められる場合は、そのように対応していく。
地域防災課 屋敷委員	2 防災対策事業費について、本市の防災無線局の設置箇所数は。
中川課長	128か所です。
屋敷委員	防災無線の聞き取りにくいという声への対策は。
中川課長	LINE等による文字放送の発信で対応していきたい。
舩田防災・危機管理監	防災行政無線はフリーダイヤルでも聞けるようにしていること、令和6年3月からはケーブルテレビと連携し、放送された内容を文字化しケーブルテレビでも放送している。
萩野委員	財源の「その他」の内訳は。
中川課長	防災行政無線の修繕については、全国市有物件災害共済会の保険適用を受けておりその保険料。
屋敷議員	災害ボランティア支えあいセンターについて、その役割をどのように考えるか。
中川課長	災害ボランティアの受け入れ、調整は、氷見市は社会福祉法人社会福祉協議会に委託している。社会福祉協議会はボランティアの対応に精通しており、安心してお願いしている。
屋敷委員	ボランティアへの要望は、現在、こういったものが多いのか。
中川課長	公費解体に伴う、事前の片付け等が主な要望と聞いているが、高齢者の方の話し相手など、福祉的な内容のボランティアの需要もあるというふうに聞いている。
屋敷委員	ボランティアの数は十分か。

中川課長	今のところ順調にボランティアの受け入れは進んでいると聞いている。
屋敷委員	今後災害ボランティアの募集というものをどのように考えているか。
中川課長	今のところ県内向けのボランティアの募集が主だと聞いているが、今後、県外へのボランティア募集など情報発信をもっと積極的に行っていく必要があると聞いている。
商工観光課 萬谷委員	氷見市観光協会への補助金はどの項目に含まれているか。
角課長	40 観光振興事業費。2,882万1千円のうち観光協会への補助、は1,837万6千円。
萬谷委員	観光協会への補助金が観光振興事業費に含まれている理由は。
角課長	観光振興を行う団体の補助を一括して計上しているため。
萬谷委員	観光協会補助金は別項目で計上してほしい。また、補助金1,800万円というのは前年を比べてどうなのか。
角課長	前年度から変更なし。
荻野議員	3 浅野総一郎翁ゆかり都市交流推進事業費について、関係人口の創出、拡大はあったのかどうか。
角課長	川崎、横浜での寒ブリ交流会開催に係る補助を実施してきた。関連企業の方の社員旅行にバスを用意して来氷されたり、その他、氷見イベントの開催、ふるさと納税へも寄付いただいている。今後は関係人口だけでなく企業誘致にも繋げていきたい。
萩山委員	この事業の主体は。浅野総一郎翁事績顕彰会の運営の仕方と氷見市の財政的は協力の仕方は。
角課長	川崎市への寒ブリ交流会の事業主催は、川崎商工会議所の工業部会。そこに浅野総一郎翁事績顕彰会が行って氷見市のPRを実施している。旅費、寒ブリ、地酒などの経費を氷見市で補助し、氷見市も川崎に行き、氷見の観光PR、物産などを氷見商工会議所と連携して実施している。 横浜市については、浅野関連企業の方々が中心となり浅野総一郎翁

	事績顕彰会と連携して寒ブリ交流会を開催しているもの。浅野総一郎翁事績顕彰会の旅費、寒ブリの経費を補助し、氷見市から職員が参加し氷見市のPRを行っているもの。 主体は各団体になるが、浅野総一郎翁事績顕彰会と氷見市が連携して開催している。
萩山委員	例えば旅費について浅野総一郎翁事績顕彰会の分も含んでいるか。また浅野総一郎翁事績顕彰会と市で賄う線引きが、なされているかどうか。
角課長	川崎、横浜各会に係る浅野総一郎翁事績顕彰会の各会5名分ずつ、計10名分の予算を計上している。また、氷見の寒ブリを中心にPRするため材料も氷見市で負担している。
萩山委員	従来から、このような仕組みであったか。
角課長	記憶しておるところでは、当初、浅野総一郎翁事績顕彰会の担当者の自費負担によるものであったが、会の規模が大きくなるにつれて、市の補助がないかという相談を受けた記憶がある。その中で市が経費の一部を補助するという経緯があった。ふるさと納税をいただいて、それを経費に充てることができないかということも検討され、ふるさと納税の項目に追加された経緯がある。
萩山委員	浅野総一郎翁のふるさと納税に、いくらぐらいの寄付がなされているのか。
角課長	令和5年度では185万4千円を、令和6年度現在では241万4千円。
萩山委員	当該事業の財源に、基金という形で繰り入れられたものが充当されているという理解でよいのか。
角課長	寄付があるからというわけではなく、重要な事業としてその財源を充てさせてもらっている。
萩山委員	観光客や関係人口の増加を図るというものだけではなく、「企業誘致」についても明記したらどうかと思うがいかがか。
角課長	商工観光課としては、これを契機に企業誘致に取り組むということは、積極的に取り組んでまいりたい。

萩山委員	38 女性が輝くオフィス進出促進事業費について、女性の働くような企業が少ないということで他の事業もたくさん上がっている。こういったことの打開策として、これらの人脈を使い、しっかりと名を打って、菊地市政はこういうものを目指すということを声高に、対外的にも発信されたらどうかと思うが、その気持ちはあるか。
菊地市長	観光交流や関係人口の創出といった面では、一定の成果は上がっているものと肌で感じたところ。関係人口、交流人口だけではなく、企業立地という部分でも、この交流をしっかりと生かしていくということを、今後も肝に銘じて市政にあたっていきたいと思っている。
萩山委員	能登半島地震により、危機管理の中で、分社化して本社機能をこっちに移転しようかということが、なかなか言いづらい状況となっているが、トップセールスの中で、企業誘致をしっかりと訴えていただきたいが、いかがか。
菊地市長	思いをなるべく口に出すようにし、しっかりと市政運営にあたっていきたい。
荻野委員	氷見市と台湾の関係性をもっとアピールするために、この事業で、王貞治さんをジョイントすることはできないか。
角課長	そのような交流が可能かどうか、スポーツ振興課にも聞いてみる。
萬谷委員	26 ふるさと納税推進事業費について、いろいろな事業の財源にふるさとづくり基金繰入金というのがあるが、令和7年度、ふるさと納税の目標額を7億円とした根拠は。
角課長	確実に達成できる見込みとして7億円としている。
萬谷委員	ふるさと納税増に向け、注力する点をお聞かせいただきたい。
角課長	返礼品のなかでも加工品を増やすことが必要と考えており、現在の事業者新たな加工品の開発をすすめることや、まだ返礼品事業に参加していない市内企業への声掛け、ホームページ等広報のブラッシュアップにも積極的に取り組んで、PRしてまいりたい。
萩山委員	40 観光振興事業費 観光地域資源ブラッシュアップ・人材育成等推進業務委託事業について、令和6年度の実績をお聞かせいただきたい。

角課長	当事業で1名の方が氷見番屋街に来ていただいております、まずは番屋街の魅力を高め、本市の来客を増やそうというような取り組みを行っている。
萩山委員	派遣されている方は、継続か。
角委員	継続を考えている。
萩山委員	令和7年度は、番屋街以外にも、街中にも広がることはあるか。
角課長	番屋街から氷見市内の観光施設の、どこが魅力的か、どこにどうやって誘客したらいいのか等の相談を商工観光課としてさせていただいている。
萩山委員	当事業の意思決定や評価は誰が行うのか。
角課長	市から委託しているが、番屋街、農協、観光協会、商工会議所とも協議し決定している。継続について今後、決定する。
萩山委員	継続するかどうかは、既に決定していることではないのか。
角課長	委託相手、実施したい事業は継続したい。
萩山委員	来年度予算に計上するものであれば、もう少し精緻に内容を詰めておくべきではないか。
釜田産業振興部長	現在の方に継続して委託するとともに、事業開始から半年のため、今後も相談しながら決定してまいりたい。
萩山委員	事業の検証を経て、次年度予算の計上をすべきであるが、いかがか。
釜田産業振興部長	来週予定の新商品の発表等をみて、今年度の成果を検証したい。
萩山委員	3月定例会までには検証されているということによいか。
釜田産業振興部長	それまでには行いたい。
萬谷委員	32 海外販路開拓推進事業費について、クラフトバレー構想において、去年までの実績、販路開拓の状況など、教えていただきたい。

角課長	継続して行っている事業者 1 件。
萬谷委員	その 1 件の売り上げ、契約数などについて把握しているか。
角課長	売り上げまでは確認していないが、本事業をきっかけに継続的にアメリカでチャレンジしていると伺っている。
萬谷委員	アジア地域のプロモーションへの参加とあるが、具体的にどこか。
角課長	本事業は、市単独ではなく県が行っている輸出事業にも組しており、フード台北 2025 に出展するということも計画していると伺っている。
萩山委員	40 観光振興事業費 個人旅行向け貸切バス運行実証事業の貸切バスの運行について、発着場所、便数、事業主体の選定など、具体的にお聞かせいただきたい。
角課長	具体的なものは決まっていないが、金沢駅周辺を発着場所とし、9 月に、1 日 3 便の往復を想定している。事業者は、特定旅行として、まずは市内のバス運行事業者を想定している。
萩山委員	事業者の選定方法、事務局をどこに設けて、どう対処していくか、教えていただきたい。
角課長	選定方法は、市の委託となるので、市内にあるバス会社からの入札になると考えている。事務局は、観光の受け入れのため観光協会、または当該バス事業者を想定している。
萩山委員	金沢駅に乗り入れしている事業者と、具体的な話し合いが進められているのか。
角課長	まだ具体的事業者には相談をしていない。内々に、石川県の観光連盟と相談しているところであり、詳細については、これから進めてみたい。
萩山委員	越県事業となるが、地元と現地の事業者の調整をどのように考えているか。
角課長	運行は一般旅客ではなく、特定旅客になるので、団体の観光バスの意味合いとなる。まずは実証実験を実施したい。

萩山委員	地元事業者だけではなく、現地の事業者も絡めて、より効果的なものにしてはいかがか。
角課長	市内事業者が基本と考えているが、観光客をどう増やすか重要な目的であるので、現地の事業者にも相談し、よりよくなるよう検討してまいりたい。
萩山委員	今回の事業は、新しく出てきた話ではなく、以前、前辻副市長がおられたときにも提案があったものであり、実証実験だけに終わらないということを経験に銘じて進めていただきたい。市長は県で、観光の立場でも関わっておられたが、越県というのは大きなハードルだと思うが、その見識はいかがか。
菊地市長	広域連携、観光は大事。金沢市なり、石川県なりとも連携して、しっかりと成果が上がるような形で進めていきたいと考えている。
萬谷議員	36 物価高対策消費拡大支援事業費について、ひみPayの活用について、年配の方など不慣れな方への対応はどのようなになっているか。
角課長	本事業は、市内の事業者への売り上げ増加の支援を大きな目的としており、ひみPayの利用について、市なり商工会議所に問い合わせいただき、使い方などを丁寧に説明してまいりたい。
萬谷委員	ひみPayではなく全国的なアプリを使う想定はなかったのか。
角課長	本事業の実施にあたり、一番、経費のかからないやり方で、継続的に商工会議所、市が実施していけるものとして検討した結果。
萬谷委員	全国的なアプリでは、市内だけではなく市外からの利用も見込まれ、結果的には増分が多くなることも想定されるがいかがか。
角課長	今回は、商工会議所、市が実施する事業費が市の外に流れないように考えたものであり、売り上げ増には議員ご指摘の全国的なアプリの活用も大事だと思うので、今後、商工会議所とも連携して検討してまいりたい。
萩山委員	38 女性が輝くオフィス進出促進事業費、21 企業立地助成金について、地元の女性の就業の、例えば企業立地助成金で、女性の従業員数のうち、地元の方の採用が多かった場合、大きな割増しを行うとか、将来を見据えて政策を構築していくことは無理か。

菊地市長	女性活躍というのは、私の政策の中でも、シェアを占める政策でありそのような要素を、今後大きく打ち出していことは大事であり頑張ってもらいたい。
水産振興課 萩山委員	14 漁業就業者確保支援事業費について、市内の漁業就業者はどのような状況か。
竹口課長	5年ごとの漁業センサスの最新の平成30年の値では243人となっており、まだ令和5年の漁業センサスの数字については、公表されていないが、それを下回るのは確実だと思っている。
萩山委員	技能修習生がアジア方面から来ておられる話も聞くが、その実態は。
竹口課長	現在10名程度で、増減はありません。
萩山委員	技能修習生により、現場の労働者不足を補っていく見通しはあるか。
竹口課長	技能実習生は、受け入れ団体、各経営体の負担等を考えると、これから大きく増えるということは期待できないと考えている。
萩山委員	どの国からの技能修習生が多いのか。
竹口課長	インドネシアです。
萩山委員	市がコミュニケーションをとっている中国、台湾の方が来ていただくことは難しいか。
竹口課長	受け入れ側としては、賃金的なメリットが、ほぼなくなったこと、文化の違いから24時間面倒を見なければならない負担から、現場としては期待していないということが現実。
萩野委員	法人化されている経営主体数は。
竹口課長	法人化している経営体は4つほど伺っている。
萩野委員	法人化されている4経営体について、給与水準を他の民間企業と比較した場合、そのような状況か。人材確保の観点から見直す必要があると思うがいかがが。

竹口課長	給与水準を上げることができれば、一番よいが、小型定置の給与水準の改善が、今後もっと大きな課題となってくると思われ、市としてどういった支援ができるかについて、これからの課題になると思われる。
荻野委員	氷見市が事業主体になって漁業経営に携わるという考えはないか。
菊地市長	水産業は、氷見にとって産業面でも観光面でも非常に大事であり、経営体の問題も含めて、今後もしっかりと取り組んでまいりたい。
農業委員会事務局 萩山委員	5 一般事務費について、会計年度職員の費用弁償等の見直しはあるか。
谷口事務局長	月1回の総会を行い、各議案が入ってきている。委員報酬でも、現地調査がその都度あり、費用弁償等の増減を図る予定はございません。
萩山委員	1 委員報酬も同様か。
谷口事務局長	同様に、変更の予定なし。
萩山委員	変更予定がないということは、現状、適正であるということか。また、いつから今の基準で運用しているか。
谷口事務局長	農業委員会の規程に基づき運用している。
萩山委員	経緯について、後で報告してほしい。
谷口事務局長	後ほど提出する。
ふるさと整備課 萩山委員	37 現年農地施設災害復旧事業費（単独・能登半島地震災害関連）について、重要な説明資料の事業概要「農地」の、今年どのタイミングで、この工事が実際には、これらの工事が次年度どのタイミングで実施され、田植え等、農業活動には支障がないのかどうか、ご答弁いただきたい。
林課長	詳細な測量を必要としない工事約40件については、令和6年度の工事費で3月に発注する予定にしており、それ以外は、詳細設計を発注し、それが出来上がり次第、発注になるため令和7年度中に発注することになる。それが約49件あり、特に農地では、先に排水路を直した後に農地に取り掛かる必要があるため、令和8年度の予算での執行になる見込

	み。
萩山委員	来年は、従来通り農業活動再開するには、非常に厳しいと言わざるを得ないということか。
林課長	全てではないが、令和7年度の農地6件については、令和7年度中の復旧見込みであり、令和8年度から耕作ができる予定。それ以外は、令和8年度の工事となるため、令和9年度から耕作可能になる見込み。
萩山委員	簡単に今の答弁を要約すると、今年は耕作できないということか。
林課長	そのとおり。
萩山委員	来年度は、ふるさと整備課所管の事業のほかにも、都市計画課や道路課などでも、いろいろな事業が控えているが、施工業者は、そこまで手が回るのかどうなのか。行政としてのその対策は事前に考えているのか。
神代建設部長	ご指摘のとおり、災害復旧工事は大変数が多い。これまでも業者の方に打診し、「これくらいの件数がある」ということを相談してきた。一方で、査定を受けている中で、具体的にどういう工事なのかというところまで、詳細に説明できてない状況でもある。そのため引き続き相談させていただき、どういう形で工事に対応していくか協議しながら進めていくことになると思っている。
萩山委員	例えば、発注手続きで不調になること等により、業者に負荷がかかることが無いような環境を確立していただき、予算執行にあたっていただきたいが、いかがか。
菊地市長	ご指摘のとおりであり、建設業協会の皆様とも日ごろから情報交換をしながら進めさせていただいている。今後もしっかりと頑張ってもらいたい。
萩山委員	この農地について、令和7年度の施工は、全体で26件のうち掲載のある6件でということでしょうか。そうであれば他の20件はどのようなか。
林課長	令和7年度6件、それ以外の20件は国の災害対応で令和8年度に実施する予定。
萬谷委員	28 技術職奨学資金返還支援事業費について、何名を対象として

林課長	いるか等詳細を知りたい。
萬谷委員	令和6年度から実施しているが、令和6年度実績無し。
林課長	周知等どのように行ったか。
萬谷議員	市のホームページ中、新採職員の採用のページにて、本支援制度について掲載している。
神代建設部長	支援の周知方法をもっと考えていただきたい。将来的に技術者が少なくなることが予想されるところで、技術者が、市職員、市内業者にたくさん来ていただける手立てを打ったほうがよいと思うが、どのように考えているか。
道路課 萩山委員	この制度は、市内の業者だけでなく、市の技術職員も対象として、何とか集められないかということで令和6年度から実施している。この事業だけでよいというわけではなく、他自治体での新しい取組み等も調査しながら、もっと有効な手立てがないか探っていかなければならないと考えている。
堂田課長	31 現年公共土木施設災害復旧事業費（補助・能登半島地震災害関連）について、最後の査定が終わったのはいつか。
萩山委員	昨年中に全ての災害査定を終える予定として取り組んできたが、12月20日までに、8回の査定を受け137件の査定を終えた。その後、追加された被災路線が数路線あり、今年に入り一度災害査定を受けており、最終の災害査定が2月4日に終わっている。
堂田課長	追加分は、来年度、どこかの補正予算等の対応という理解でよいか。
萩山委員	はい、下水道等重複しない箇所、液状化のエリアではない箇所から優先して進めていきたい。最後に受けた査定の中にもその対象となる路線があり、今年度の繰越分と来年度の当初予算の中からも、その対象となる路線について復旧していく。復旧のリストの枠の中で対応していきたいと思っております。
	追加分は、当初から把握していたものから比べると、そのダメージの程度とか、復旧の作業量というのは、そんなに大きいものではないという理解でよいか。

堂田課長	全体の被害額に比べると、わずかではあるが、金額にすると、それなりの金額になる。
萩山委員	重要な説明事項に添付の地図について、プロットしてある路線の範囲とか延長等が分かりにくい。箇所ごとの延長や工事費など概要をまとめた一覧等があるか。
堂田課長	査定を受けた単位での、現時点での137件、それぞれの延長、事業費等のリストは持ち合わせている。
萩山委員	委員長、箇所付けの資料を、配布いただきたい。
北委員長	堂田課長、今の件の明細な資料をいただきたいがよろしいか。
堂田課長	用意する。
都市計画課 屋敷委員	24 液状化対策推進事業費（能登半島地震災害関連）について、今回、比美乃江公園で実証実験するということだが、元々、あそこは埋立地というふうに承知している。なぜそこになったのか。被害の大きかった北大町地内とか、そういうところでの実証実験の方が効果的ではないかと思うが、いかがか。
宮下課長	比美乃江公園は埋立地のイメージが多々あると思う。旧防波堤から陸側にいて、北大町や栄町など、県道藪田下田子線とほぼ同じ地層と判断しており公園内道路、駐車場、緑地等、かなり広い面積があるので、そこでの想定を予定している。
萩山委員	同じような地層だからということであるが、実際に、そこに家を建てたいと思っている人がいるところで、実証実験した方が、より効果的ではないかと思う。一番最初に公費解体が実施された部分では駄目なのか。
宮下課長	実際に家を建てる場所は非常に効果的だと思う。現在想定している比美乃江公園の一番西側には、道路が走っており、そこは宅地に面しているところでもあるので、実証実験をすることにより、実際に藪田下田子線沿線での想定も十分できると判断し、そのエリアを予定している。
萩山委員	その実証実験をしたからといって、その成果が、全ての液状化した地区に対して担保されるものではない。それならば、なおさら宅地化する可能性のあるところで実験した方が、より確実なものが担保されると

	思うがいかがか。なぜ、将来的に宅地にもしないようなところで、そういう実験をするのか。例えばある程度の面積がなければ、その実証実験ができないので、公費解体で更地になったところでは不十分等の分かりやすい理由はないのか。
宮下課長	実証実験の数をたくさんこなすことは精度も上がり、その実験結果から、有効性、安全性も高まると思っている。まず、液状化被害の範囲は、藪田下田子線沿線にとどまらず、仏生寺川周辺にも広がっている。全ての地区で、同時にできればいいが、まずは被害の大きい藪田下田子線沿線の実証実験として、比美乃江公園を選定、想定している。
萩山委員	そこでの実験の結果が、全くあてにならないような結果になるということを指摘しているのではない。なぜ、実際に建設のニーズのあるところでできないのかを問うている。面積の制約があるとか、その他の要因があって、そこでは実験の担保ができないから、こちらで実験するというのであれば理解できる。比美乃江公園でやること自体、全く意味が無いと言っているわけではない。同じ地層であれば、建設のニーズのある場所で実施したほうが、精度が高まると思われが、その選択肢はなかったのか。
宮下課長	現在どこに新しく宅地を設けるかは、公費解体の状況の進捗を見ながらになり、時間がかかるものだと思っている。実証実験についても、水を抜く工法には、非常に長い時間をかけて水を抜くということもあるので、早く実証実験をしたいという思いがある。合わせて継続的な事業の推進ということもあるので、まずは比美乃江公園のその一部を現在想定している。
萩山委員	実際に公費解体したが、家を建てるかどうか分からないという場所で実施することが難しい、時間的にも早く実証実験しなければいけないということで、今回の比美乃江公園を選んだということで理解した。
萬谷委員	9 景観づくり事業費について、景観まちづくりプラン策定支援補助制度等に係る経費がありますが、今回の震災により、景観計画について、問題等が発生しているとか変更が必要なところ等あるか。
宮下課長	震災によって景観計画の内容を変えることは、現在、想定していない。むしろ復旧復興の復興的観点から、令和6年度休止していた事業を、令和7年度再開する予定としている。
萬谷委員	復旧していく中で、例えば地中に電柱を含めて景観をよくするとか、新しい観点ははないのか。

宮下課長	景観地区重点地区指定にあたっては、電線等の地中化は必ず議論される。そのようなものも当然、推進していくべきと思っており、今後また引き続き改定にあたり、皆様のご意見を聞いて進めてまいりたい。
萬谷委員	17 都市公園整備事業費について、氷見市全体の都市公園の整備計画で、氷見運動公園の中の計画は、今後どう進めていくのか。
宮下課長	氷見運動公園内の施設については、テニスコートの他に相撲場がある。テニスコート終了後の計画として、ふれあいスポーツの屋根の修繕工事にかかりたいと思っている。その後については、スポーツ振興課所管のスポーツ振興計画があり、年次計画は出てされていないが、順に各施設を更新検討していくという表があるので、そういったものを参考に、利用状況、本市の財政状況等の協議を進め決定していきたい。
萬谷委員	21 安全・安心とやまの住まい耐震化促進事業費について、対象が家全体ではなくて、例えば1階のみとか、お年寄りがおられる寝室だけとか、そういう場合も可能か。
宮下課長	耐震対策については、家全体の耐震性を上げること、あるいは1階のみの耐震性を上げることなどが公表されている。例えば寝室だけをシェルターのように改造するという耐震策も、現在、検討されている。この耐震の事業は、県事業と連動して実施しており、今後、富山県等で、そのような事業のメニュー化などされた時には、補正などの対応でお願いしたいが、今回は家全体の耐震化の費用を計上している。
萩山委員	25 災害公営住宅整備事業費について、公費解体の申請締め切りも来月に末に迫っていることから、前回の特別委員会から、入居者の希望の状況等について、なにか動きや変更があるか教えていただきたい。
宮下課長	3度目の検討会について、特別委員会でも説明した通り、入居希望が61名、入居に満たす条件の方が43名で、推移はしていない。公費解体の期日が迫るにつれて、この後、増加する可能性もあるので、引き続きヒアリングや調査を実施していきたい。
上下水道課 屋敷委員 足立課長	現年公共土木施設災害復旧事業費について、地震によって被災した上下水道箇所について、当初調査が行われたと思う。その後、現在どのような状況になっているのか。 水道については、まず震災のときに漏水が発生した。漏水発生箇所は、

	即時修理し漏水を止めた。災害査定を終えており、その後の調査は、特に実施しておらず、漏水が発生したら順次直している。 下水道については、まず初めに道路面の路面調査し、その後、マンホールの浮上とか、そういったものが認められた箇所は、マンホールを外し中の状況を調査した。その中に帯水があったところは、2次調査としてカメラ調査を実施し、被災状況を調べて、災害査定の対象となる採択要件のあるものは、災害査定を受け、今のところ全ての災害査定が終わっている。
屋敷委員	今、毎日のように、ニュース等で騒がれている埼玉県八潮市ですが、下水管の耐用年数は経過していないという報道がされている。氷見市においても、今後の下水道計画というものをしっかりしていただきたいがいかがか。
足立課長	下水道については、耐用年数が50年であり、現在、氷見市の下水道管の一番古いもので41年経過管がある。今回、八潮市の事故を受けて国から点検の要請がされているのは、流域下水道の事業者に対して、1日の下水の処理能力が、30万立方メートルを処理する大きな下水道、そこに口径2メートル以上の管渠が接続する、そういったものについて緊急点検をなさいという要請がされている。氷見市には、そんな大きい処理場ではなく対象外であるが、令和3年度に、湖光地内で陥没事故が発生したこともあり、一応、口径400ミリ以上の管線について、延長約8キロになるが点検をするということで進めており、その4分の1程度、約2キロメートル程度を調査した。今のところ異常はないが、その時点から降雪があったことから、現時点で点検は中断している状況で、しっかりやっていきたいと考えている。
萩山委員	下水道工事は、施工業者の方にとって、新しく新設する工事はともかく、下水管を使用しながら、下水を流しながらの工事は知見が薄いと思われる。工事を進めるにあたり、施工業者とのコミュニケーションをとるなど、対応についてなんらかの努力はなされているのか。
足立課長	建設業者は、新設工事は経験があるが、更新工事は経験がないので、非常に心配されておられる。そのため1月24日、協会の方に市の設計の考え方を事前に説明したところであり、できるだけ意見交換しながら、心配事がないように努めていきたいと考えている。
萩山委員	重要な事業説明資料 氷見市公共下水道災害工区割図について、工事の大まかな工事見込みや概要を示した資料はあるか。
足立課長	今、手元にはないが、委託の進捗具合について、新たに被災箇所が見

	受けられまして、若干、完成が遅れるような見込みとなっている。ただし、何年間とか半年遅れというものでないので、元々のロードマップのスケジュール感的にはそんなに影響が出ないと考えている。
萩山委員	工区の中の、これから進捗の見込みと、個別の延長、路線名の一覧表を提出いただきたい。
北委員長	萩山委員から提供依頼のあった資料をいただきたいが、よろしいか。
足立課長	少し時間をいただき提出する。
萩野委員	氷見市公共下水道災害工区割図には、白川地区と速川地区の2箇所について塗りつぶしてないが、工事の必要性がない工区なのか、あるいは、令和8年度ということなのか教えていただきたい。
足立課長	この工区割図は、あくまで公共下水道の部分の工区割図であり、農業集落排水の2地区が載っているため紛らわしくなっている。農業集落排水2地区、白川地区と速川地区については、令和7年度工事を発注することで予算計上している。

○農業委員・推進委員の報酬（基本給）及び費用弁償について

（関係条例：氷見市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例）

月額 報酬（基本給）

単位：円

条例改正年月	従 前	平成29年3月	令和2年3月
農業委員会長	12,000	15,000	18,000
農業委員	10,000	13,000	13,000
農地利用最適化推進委員		13,000	13,000
新たに推進委員が加わることから報酬額の見直しを行った。 会長とその他の委員との職務差を反映した報酬金額とすることが望ましいとされたことから報酬額の見直しを行った。			

日額 費用弁償

全委員	1,600⇒1,700	1,700	1,700
-----	-------------	-------	-------

県内各市の農業委員会の報酬額（基本給）について（令和6年度） 単位：円

	農業委員会 会長	農業委員 会長代理	農業委員	農地利用最適化 推進委員
高岡市	35,000	28,000	22,000	15,000
射水市	20,000	15,000	15,000	設置していない。
小矢部市	17,000	12,000	12,000	12,000
砺波市	18,000	14,000	14,000	設置していない。
氷見市	18,000	13,000	13,000	13,000

※南砺市は、実績に基づく算定のため除く。

なお、呉西地区各市と比較すると、現在も氷見市農業委員、推進委員の報酬額が低目となっています。

以前、令和2年3月の報酬額の改訂に向けて、会長15,000円⇒20,000円、他委員13,000円⇒15,000円
の案で協議をしましたが、会長15,000円⇒18,000円のみ増額と成りました。

費用弁償 （日額）	備 考
—	報酬額（基本給）に含 めている。
1,300	総会のみ。現地確認は 支払っていない。
—	—
1,300	総会のみ。現地確認は 支払っていない。
1,700	総会や現地確認時に支 払い

令和6年度、7年度市道災害復旧箇所一覧

※実施にあたり変更となる場合があります

R7.2.17 道路課

予算区分	路線名	場所	延長(m)	備考
R6	三尾見内線	葛葉	26.1	完了
R6	鞍川霊峰線	鞍川	20.9	完了
R6線	阿尾島田線他3路線	阿尾・間島	130.0	工事中
R6線	間島4号線他2路線	間島・稻積	179.9	工事中
R6線	谷村2号線他1路線	余川	83.7	工事中
R6線	鞍川1号線(その1箇所)他8路線	鞍川	525.4	工事中
R6線	朝日地蔵2号線(その1箇所)他1路線	地蔵町	37.1	工事中
R6線	朝日丘住宅1号線他1路線	朝日丘	69.3	工事中
R6線	藪田見田窪線(その3箇所)	藪田	410.0	工事中
R6線	柳田東8号線他5路線	窪・柳田	1,145.8	工事中
R6線	鞍川地内消雪ポンプ施設	鞍川	ポンプ施設1式	工事中
R6線	池田浜1号線	北大町	218.4	工事中
R6線	稻積一勿線	稻積	70.0	R7.3月発注予定
R6線	園9号線他3路線	柳田・園	377.1	R7.3月発注予定
R6線	上稻積10号線他3路線	稻積	206.4	R7.3月発注予定
R6線	氷見大野線	大野新	132.5	R7.3月発注予定
R6線	島尾東13号線	島尾	51.6	R7.3月発注予定
R6線	朝日川原2号線他4路線	本町・南大町・地蔵町	149.9	R7.3月発注予定
R6線	下田子1号線他4路線	上泉・下田子	420.5	R7.3月発注予定
R6線	諏訪野9号線他7路線	栄町・諏訪野・幸町	596.3	R7.3月発注予定
R6線	氷見田江線	伊勢大町2	102.5	R7.3月発注予定
R6線	宮田3号線	宮田	50.0	R7.3月発注予定
R6線	上泉下田子2号線	上泉	184.5	R7.3月発注予定
R6線	横羽毛中央線他3路線	鞍川	729.9	R7.3月発注予定
R6線	村上朝日線(その2箇所)	朝日本町	193.4	R7.3月発注予定
R6線	柳田東9号線他9路線	窪・柳田	1,379.4	R7.3月発注予定
R6線	栄町住宅2号線他2路線	諏訪野・栄町	384.4	R7.3月発注予定
R6線	加納南1号線他1路線	加納	519.8	R7.3月発注予定
R6線	万尾坂津線(その1箇所)他1路線	万尾・坂津	94.0	
R6線	矢崎清水線(その2箇所)他1路線	十二町	133.1	
R6線	浦出脇之谷内線他2路線	栗原	218.6	
R6線	中谷内惣領線(その2箇所)他9路線	中谷内・下久津呂・上久津呂	1,123.6	
R6線	川尻4号線他1路線	川尻	339.8	
R6線	川尻1号線他1路線	川尻	414.8	
R6線	中谷内惣領線(その4箇所)	中谷内	239.7	
R6線	荒館線他7路線	十二町	1,634.9	
R6線	上久津呂栗原線(その2箇所)	上久津呂	155.0	
R6 小計 37件				

令和6年度、7年度市道災害復旧箇所一覧

※実施にあたり変更となる場合があります

R7.2.17 道路課

予算区分	路線名	場所	延長(m)	備考
R7	白川向出線	白川	41.6	
R7	脇方裏出2号線	脇方	39.8	
R7	藪田見田窪線(その1箇所)他3路線	藪田	262.8	
R7	日詰早借線他2路線	日名田・小久米・日詰	92.0	
R7	柿谷上田線他1路線	上田	111.1	
R7	神代飯久保線他4路線	飯久保	518.1	
R7	鞍骨中央線他3線	鞍骨	85.6	
R7	湊川左岸線他2路線	朝日本町	247.8	
R7	栗屋大橋線	中村	8.0	
R7	布施川田線他1路線	布施	267.6	
R7	鞍川往易線他6路線	中尾・泉	1,026.8	
R7	環状北線	大野	328.8	
R7	大浦3号線他6路線	川尻・海津・大浦	794.4	
R7	深原三田窪線(その1箇所)他3路線	矢田部	328.9	
R7	大浦団地1号線他5路線	大浦	545.8	
R7	深原三田窪線(その3箇所)他1路線	矢田部	286.5	
R7	惣領矢田部線他2路線	惣領・仏生寺	256.5	
R7	中田平沢線他1路線	中田・長坂	159.2	
R7	寺尾飯山線(その1箇所)	寺尾	183.5	
R7	寺尾飯山線(その2箇所)	寺尾	63.8	
R7	上庄中央線	柿谷	77.0	
R7	地蔵海岸線(その3箇所)	地蔵町	26.0	
R7	吉池山川線	仏生寺	61.2	
R7	熊無一の瀬線	上余川	188.8	
R7	中尾沢1号線他2路線	中尾・大野新	310.1	
R7	大浦中島1号線他1路線	大浦	80.8	
R7	早借上田線	上田	23.2	
R7	早借3号線	早借	47.7	
R7	触坂飯の田線	触坂	80.5	
R7	胡桃天狗岳線	胡桃	8.6	
R7	熊無中田線他4路線	論田	549.2	
R7	中谷内惣領線(その3箇所)	矢田部	40.1	
R7	森寺親田線	森寺	20.0	
R7	脇之谷内勝木原線	仏生寺	498.2	
R7	日名田熊無線	日名田	129.0	
R7	柿谷向出線	柿谷	64.7	
R7	加納南2号線(その2箇所)他2路線	諏訪野	486.0	
R7	北八代堀田線(その1箇所)	万尾・坂津	614.3	
R7	北八代堀田線(その2箇所)(橋梁)	川尻・海津	152.7	
R7	惣領大窪線(その2箇所)(橋梁)	仏生寺	13.7	
R7	白上3号線他2路線	阿尾	382.9	
R7	大境1号線他2路線	大境	420.3	
R7	三尾見内線(その2箇所)	三尾	109.8	
R7	加納南2号線(その1箇所)他1路線	加納	223.2	
R7	氷見駅朝日線(その2箇所)	朝日丘・朝日本町	93.5	
R7	下田子海老坂線(その2箇所)	下田子	196.4	
R7	北八代堀田線(その3箇所)他3路線	余川	1,146.9	
R7	脇方裏出1号線他1路線	脇方	112.5	
R7	宮の腰支線	小杉	33.0	
R7	小久米線	小久米	209.2	
R7 小計 50件				

下水道災害復旧箇所一覧

R7.2.17

上下水道課

※能登半島地震では激甚災害における簡素化査定で受検しており、実施設計後に国の設計変更協議を経る必要がある。

現在、この協議に時間を要しており発注予定時期はずれ込む可能性がある。

種別	予算	工区名		復旧延長(m)	地区名	延長	発注予定時期
雨水	R 6	鞍川排水区	幸町	164	幸町	164.0	R7第1四半期
		幸町 第1排水区	幸町	73.8	幸町	73.8	3/3入札予定
		間島第1排水区	間島	95	間島	95.0	発注済み
		雨水合計		332.8			

種別	予算	工区名		復旧延長(m)	地区名	延長	発注予定時期			
公 共 下 水 道	R 6	【2工区】	阿尾外	1,234.3	阿尾	739.7	R7第1四半期			
					宇波	93.6				
					藪田	401.0				
		【3工区】	余川外	823.7	余川	326.0	R7第1四半期			
					上余川	150.6				
					稻積	51.2				
					加納	143.1				
					七分一	152.8				
		【5工区】	大野外	757.9	太野	506.2	R7第1四半期			
					泉	251.7				
		【7工区】	中央町外	677.3	中央町	236.0	R7第1四半期			
					比美町	441.3				
		【10-1工区】	川尻	89.0	川尻	89.0	発注済み			
		【12工区】	仏生寺外	1,246.8	仏生寺	448.3	3/3入札予定			
					惣領	556.5				
					鞍骨	242.0				
		【13工区】	飯久保外	1,020.8	飯久保	963.3	R7第1四半期			
					布施	57.5				
		【14工区】	矢田部	1,050.7	矢田部	1,050.7	3/3入札予定			
	R 7	【1工区】	北大町外	847.0	北大町	726.9	R7第1～2四半期			
					諏訪野	120.1				
		【4工区】	鞍川外	375.2	鞍川	331.2	R7第1～2四半期			
					加納	44.0				
		【6工区】	幸町	934.6	幸町	934.6	R7第2～3四半期			
		【8工区】	地藏町外	540.1	地藏町	51.1	R7第1～2四半期			
					伊勢大町	143.6				
					朝日本町	59.0				
					丸の内	62.6				
					本町	35.9				
					朝日丘	150.6				
					南大町	37.3				
		【9工区】	栗原	1,154.0	栗原	1,154.0	R7第1～2四半期			
		【10工区】	下久津呂外	687.2	下久津呂	257.8	R7第1～2四半期			
					西朴木	170.4				
					万尾	49.9				
	中谷内				41.0					
	川崎				168.1					
	【11工区】				十二町	914.8		十二町	914.8	R7第1～2四半期
	【15工区】				矢田部	532.6		矢田部	532.6	R7第1～2四半期
	【16工区】				下田子外	498.4		下田子	177.4	R7第1～2四半期
		上泉	120.9							
		宮田	84.8							
		柳田	7.3							
		中島	73.0							
		園	35.0							
汚水合計				13,384.4						

加納 計
187.1

矢田部 計
1,583.3

種別	予算	工区名		復旧延長(m)	地区名	延長	発注予定時期
農業集落排水	R7	白川地区		247.08	白川	247.1	R7第2四半期
		速川地区		123.1	早借	21.0	R7第2四半期
					小窪	42.0	
					日名田	60.1	
農集合計				370.18			

氷見市下水道災害工区割図

